



たんけんだ!! と しょ か ん 図書館は本の森

この夏は、本の森に遊びにきませんか？図書館には、読みきれないほどのたくさん
さんの本がならんでいます。今のあなたにぴったりの1冊がきっとあるはず！

毎年好評！

子どものための科学実験講座

市内在住・在学の小学4年生～中学3年生を
対象に、自由研究に役立つ講座を開催します。

今年のテーマは、

「DNA ってなんだろう



～DNA をとりだそう、二重らせんストラップを
つくろう」です。 8/1 (木)開催！

くわしくは、ホームページを見てね。

夏休みの自由研究や、
工作の本、調べものに
役立つ本、読書感想文に
おすすめの本もあるよ！



たんた新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
Tel. 04-7184-1110

たんた新聞



読書マラソン大会

「なつやすみ大会」開催！

図書館の利用カードを作って、パスワード
とうろくをして、参加しよう！

もくひょう 15冊！ゴールしたら記念品を
プレゼントします。



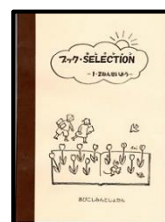
7/19(金)～8/31(土)まで開催！

くわしくは、ホームページを見てね。

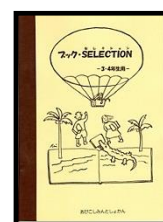
図書館のおすすめの本がのっています ブックリスト

この新聞の他にも、学年別ブックリスト
でおすすめの本をたくさん紹介してい
ます。ブックリストは、

- ・図書館でもらえます。
- ・図書館のホームページで見られます。



1・2年生用



3・4年生用



5・6年生用

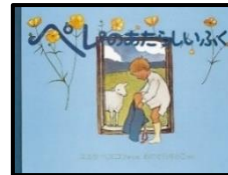
★★ 今号の特集 ★★
夏休みにおすすめの本

ページをめくってみよう！

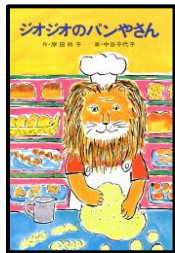
1ねんせいに おすすめ



「ペレのあたらしいふく」



エルサ・ベスコフ／さく・え
おのでら ゆりこ／やく
福音館書店(EAベ)



「ジジオの パンやさん」

岸田 衿子／作
中谷 千代子／画
あかね書房(1-キ)



「ちいさいうち」

ばーじにあ・リー・
ばーとん／ぶんとえ
いしい ももこ／やく
岩波書店(EAバ)



「こねこのぴっち」

ハンス・フィッシャー
／文 絵
石井 桃子／訳
岩波書店(EAフ)



「どれみふあけろけろ」

東 君平／作・絵
あかね書房(1-七)

およ ながて
泳ぎの苦手なたっくんは、かえるが
うらやましくて「かえるになりたいなあ」とつぶやきま
す。そうしたらなんと「あおがえるたけし」になってしま
ったのです。かえるの学校では、歌や泳ぎ方の勉強
をします。たっくんは泳げるようになるでしょうか？



「トヤのひっこし」

イチノロブ・ガンバートル／文
バーサンスレン・ボロルマー／絵
津田 紀子／訳、福音館書店(EAボ)

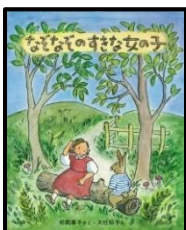
はる 春のおわり、モンゴルの草原に住むトヤたち家族は
もっと水や草があるところへひっこすことになりました。
らくだに荷物をもつて、ひつじややぎたちも一緒にさあ
出発！ さばくをこえ、山をこえ、いったいどこまでいくの
でしょう。長～いひっこしの旅の絵本です。

2ねんせいに おすすめ



「ようせいの ゆりかご」

ルース・エインワース／作
河本 祥子／訳 絵
岩波書店(2-エ)



「なぞなぞの すきな女の子」

松岡 享子／さく
大社 玲子／え
学研プラス(Gakken)
(1-マ)



「小人ヘルベ のぼうけん」

プロイスラー／作
中村 浩三／訳
偕成社(2-ブ)



「くまの子ウーフ」

神沢 利子／作
井上 洋介／絵
ポプラ社(1-カ)



「さとののじてんしゃ」

大石 真／さく、北田 卓史／え
小峰書店(1-オ)

さとのはじてんしゃがほしくてたまら
ないけれど、なかなか買ってもらえません。ところがあ
る日、家にかえるとじてんしゃが！ さとのは大よろこび
です。毎日練習してなんとかなれるようになると、うれ
しくてついついお母さんとの約束をやぶってしまい…。

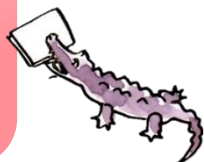


「はじめてのキャンプ」

林 明子／さく・え
福音館書店(1-ハ)

なほちゃんは小さな女の子。大き
な子どもたちにまじって、はじめてのキャンプに出か
けます。がんばってやっとできた“はんごう”のご飯、
そのおいしいことといったら！ でも、夜になってとても
こわいことがおこります。

3年生に おすすめ



「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」
ジョイス・L・プリスリー／さく
上条 由美子／やく
菊池 恭子／え
福音館書店(2-ブ)



「海へのあさ」
ロバート・マックロスキー
／文・絵
石井 桃子／訳
岩波書店(EAマ)



「しばてん」
田島 征三／文と絵
借成社(EAタ)

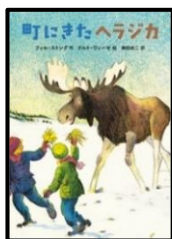


「火よう日のごちそうはひきがえる」
ラッセル・エリックソン／作
佐藤 凉子／訳
ローレンス・ディ・フィオリ／画
評論社(2-エ)[旧版]※書店で流通しているのは新版です。



「黒ネコジェニーのおはなし 1」
エスター・アベリル／作・絵
松岡 享子／共訳、張替 恵子／共訳
福音館書店(2-ア)

黒ネコのジェニーは近所のネコたちのあつまり、「キャットクラブ」に入りたいと思っていました。でも特技がないと入れません。おちこむジェニーにキャプテン・ティンカーがすてきなプレゼントをくれました。さてそれは…？



「町にきたヘラジカ」
フィル・ストング／作、クルト・ヴィーゼ／絵
瀬田 貞二／訳
徳間書店(2-ス)

10才の男の子・イバルは、ある日父さんのうまやに、おなかをすかせた大きなヘラジカがまよいこんでいるのを見つけました。イバルと友だちのワイノは、冬の間ヘラジカと楽しく過ごします。本当にあった出来事をもとに書かれたお話です。

4年生に おすすめ



「オンネリとアンネリのおうち」
マリヤッタ・クレンニエミ／作
マイヤ・カルマ／絵
渡部 翠／訳
福音館書店(2-ク)



「魔女ジェニファとわたし」
E.L.カニグズバーグ／作
松永 ふみ子／訳
岩波書店(2-カ)



「ゆうかな猫ミランダ」
エレナー・エスティス／作
エドワード・アーディゾーニ／絵
津森 優子／訳
岩波書店(2-エ)

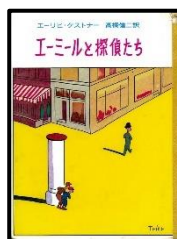


「くらやみ城の冒険」
マージェリー・シャープ／作
渡辺 茂男／訳
ガース・ウィリアムズ／絵
岩波書店(2-シ)



「だれも知らない小さな国」
佐藤 さとる／作、村上 勉／絵
講談社(1-サ)

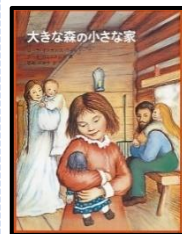
ぼくがまだ小学生のとき、小山と杉林にかくされた場所で、赤いクツにのって小川をくだるいたずらずきの小人を見ました。大人になったぼくは、ひさしぶりにあの小山に出かけて行き、小人たちとなかよくなります。



「エーミールと探偵たち」
ケストナー／作、高橋 健二／訳
岩波書店(2-ケ)

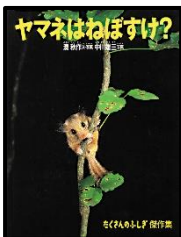
ある日、大事なお金を盗まれてしまったエーミール。きっと汽車の中にいたあの男が犯人です。でも、エーミールは知らない町にたった一人。困っているとグスタフという少年が話しかけてきて、すぐさま子ども探偵団ができあがりました。さあ、追跡開始です！

5年生に おすすめ



「大きな森の 小さな家」

ローラ・インガルス・
ワイルダー／作
恩地 三保子／訳
ガース・ウィリアムズ／画
福音館書店(2-ワ)



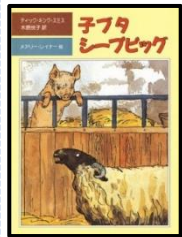
「ヤマネは ねぼすけ？」

湊 秋作／文・写真
中川 雄三／写真
福音館書店(EMタ)
[版元品切れ中]



「名探偵カッレくん」

めいたんてい
リンドグリーン／作
尾崎 義／訳
岩波書店(2-リ)



「子ブタシープピッグ」

ディック・キング=スミス／作
木原 悦子／訳
メアリー・レイナー／絵
評論社(2-キ)



「ぼっぺん先生と帰らずの沼」

舟崎 克彦／著
筑摩書房(1-フ)

ぼっぺん先生は大学の先生です。
ある夏の暑い日、大学でめずらしい
桃色のウスバカゲロウを見つけて追いかけているうち
に、なんと先生自身がウスバカゲロウになっていて…。
先生は無事に人間に戻れるのでしょうか？



「魔法使いのチョコレート・ケーキ」

まほうつか
マーガレット・マーヒー／作、石井 桃子／訳
シャーリー・ヒューズ／画、福音館書店(2-マ)

ケーキ作りが得意な魔法使いは、町
の子どもたちをパーティに招待します。でも、だれ一人
やってきません。そこで魔法使いはリンゴの木にケー
キをあげるようになります。ちょっとふしぎな10のお
話と詩が入っています。

6年生に おすすめ



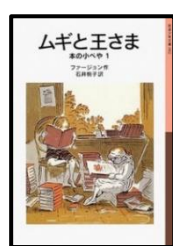
「トンデモネズミ 大活躍」

ポール・ギャリコ／作
矢川 澄子／訳
岩波書店(2-ギ)



「トム・ソーヤー の冒険」

マーク・トウェイン／作
大塚 勇三／訳
八島 太郎／画
福音館書店(2-ト)



「ムギと王さま」

ファージョン／作
石井 桃子／訳
岩波書店(2-フ)



「ハヤ号セイ川をいく」

フィリップ・ピアス／[著]
足沢 良子／訳
E=アーディゾーニ／絵
講談社(2-ピ)



「チョコレート工場の秘密」

ロアルド・ダール／作、田村 隆一／訳
評論社(2-ダ)
[旧版]※書店で流通しているのは新版です。

チャーリーは家族仲がよく幸せです
が、貧乏でいつもおなかですいています。おじいさん
が話してくれるチョコレート工場の七不思議にわくわく
していると、新聞におどろくような記事が！金色の券を
当てた子どもを工場にまねいてくれるというのです。



「秘密の花園」

F.H.バーネット／作、猪熊 葉子／訳
堀内 誠一／画、福音館書店(2-バ)

両親を亡くした少女メリーは、イギリ
スのおじさんの屋敷にひきとられます。そこは鍵のか
かった部屋がたくさんある、ふしぎな屋敷でした。ある
日、メリーは10年間だれも入った者がいないという、
秘密の庭のとびらを見つけます。